

## 注 射 (皮内注射、皮下注射、筋肉注射、静脈注射)

### 注射痛の緩和


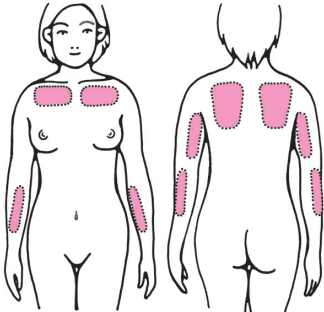
- ・ 針を素早く刺入する。
- ・ 話しかけたり、深呼吸をしてもらい呼気に合わせて刺入する。
- ・ 薬液はゆっくり注入する。

- \* 皮下注射の吸収速度は、静脈注射の  $1/10$ 、筋肉注射の  $1/2$ 。
- \* 筋肉注射の吸収速度は、静脈注射の  $1/5$ 、皮下注射の 2 倍。
- \* インスリンの吸収速度は、腹壁 > 上腕 > 大腿の順に早い。

注射の準備は必ず、1 行為に、1 トレーを使用。  
作業を並行して行わない、中断しない。  
準備した人が、施行する。  
2 人で確認 (ダブルチェック)。  
薬の目的・作用・副作用を理解して行う。  
実施後に反応を観察する。

- \* 皮膚のアルコール綿での清毒は、清拭という機械的操作と 70% エタノールによる脱脂と消毒作用を利用している。
- \* 皮膚表面のアカを除き、皮脂を取り除くことでアルコール消毒の効果をあげる。  
エタノールと菌の接触時間の消毒効果から清拭後 30 秒程度おき、揮発してから注射針の刺入を開始する。

## 皮内注射 (ID)

注射針	26 ~ 27 G
刺入 角度	<p>皮膚と、ほぼ平行。皮膚をすくうように。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表皮と真皮の間の、皮内へ注射。</li> </ul> 
刺入 部位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前腕内側部の皮膚がよく使われる。</li> <li>・角質層の薄い場所。</li> <li>・発疹、癬痕がある場所は避ける。</li> </ul> 
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬液注入後の膨張を確認。</li> <li>・終了後、圧迫したり、揉まない(刺激避ける)ように伝える。</li> <li>・ツベルクリンテスト、抗生剤テストなどに用いる。</li> </ul>